

IPAS2022

スポットメンタリング 公募開始！！

IPAS（知財アクセラレーションプログラム）とは
事業と知財の両面でスタートアップの成長を加速させる
プログラムです！

IPASでは、

- 事業戦略に連動した知財戦略の策定
- 約400人のメンターの中から貴社の課題に最適なメンタリングチームを組成
- IPASの支援を体験できる2時間のメンタリングを実施

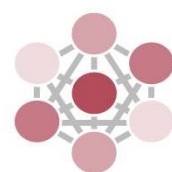
IPASで期待できる効果



顧客にとっての価値を反映した
技術・製品・サービスの開発



技術面における信用力獲得により資
金調達や大企業との協業を有利に



大企業との協業形式の
選択肢（ライセンス等）の拡大

**起業準備中の個人も応募可能！
ぜひ奮ってお応募ください！！**

応募資料ダウンロード：URL

続きは **IPAS 知財**

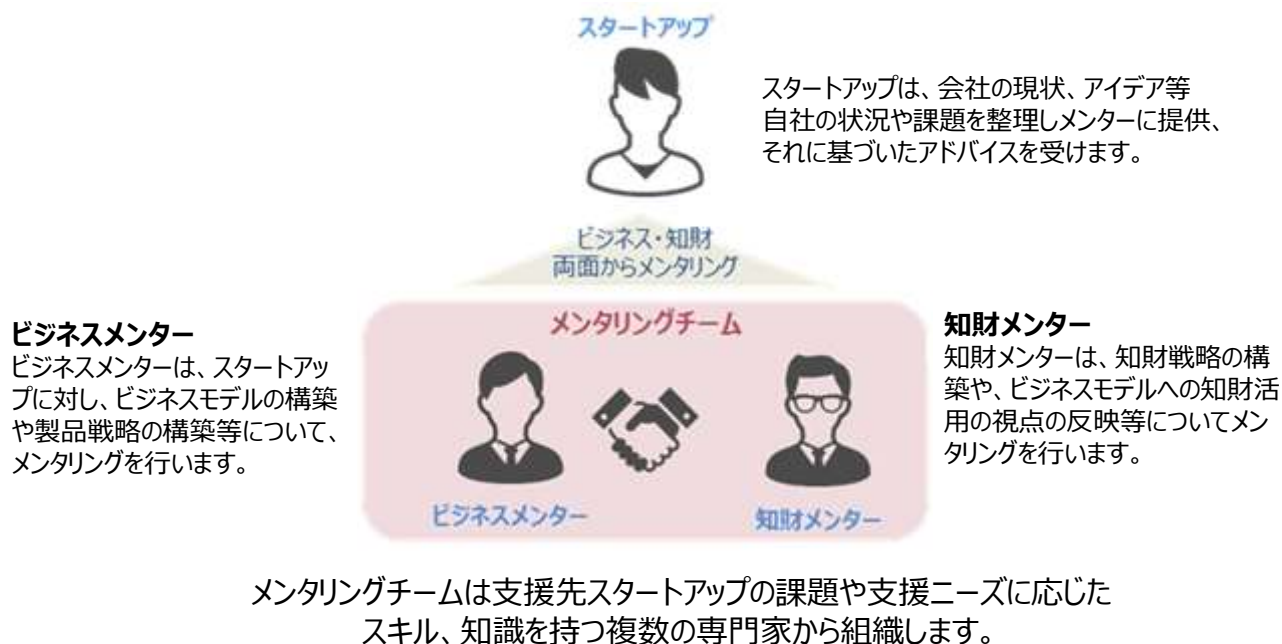
で検索！！

第1回応募締め切り：2022年10月7日
提出先：ipas2022@nttdata-strategy.com
(メールに応募資料を添付してご応募ください)

QR：



IPAS支援イメージ



今年度のスケジュール（予定）

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



- 第1回：2022年10月第4週（具体的な日時はマッチングの過程で確定）
- 第2回：2022年11月（第3週または第4週）開催予定
- 第3回：2022年12月（第2週または第3週）開催予定
- 第4回：2023年1月（第3週または第4週）開催予定

対象者：産業財産権（特許権等）取得の対象となり得る新規シーズを活用した製品・サービスを研究または開発しているスタートアップ および 左記に該当するスタートアップの起業を準備中の個人

第1回 応募締め切り：2022年10月7日（金）
第2回以降は順次公開予定

支援期間：1回2時間程度（オンラインまたはオフライン）
採択社数：各回6社程度

第1回から3回においては、応募者が多数の場合、各回締め切り前に採択を決定し、マッチングを行うことがあります。複数の開催回に同時応募可能ですが、採択されるのは、1回のみとなる予定です。

お問い合わせ、及び、応募資料提出先

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 IPAS事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル10階
ipas2022@nttdata-strategy.com
担当：櫻木、高井
TEL：03-6261-7453



NTT Data
Trusted Global Innovator

株式会社 NTTデータ 経営研究所

応募資格

次のいずれにも該当し、知財をベースとした事業に意欲のあるスタートアップ(法人)またはスタートアップの起業を準備中の個人

(法人、個人共通)

- ① 産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)取得の対象となり得る新規シーズ(技術やアイデア)を活用した製品・サービスを研究または開発していること
- ② 知財に関して認識している課題があること
- ③ 反社会的勢力またはそれに関わるものとの関与がないこと
- ④ IP BASE にメンバー登録をしていること(<https://ipbase.go.jp/regist/member/> 登録は簡単に終わります)

(法人の場合)

- ① 資本の額又は出資の総額が3億円以下、常時使用する従業員の数が300人以下、のいずれかの条件を満たし、製造業、建設業、運輸業、その他の業種(卸売業、サービス業、小売業を除く)に属する事業を主たる事業として営む、中小企業であること

ただし、以下のいずれかに該当する場合には、応募資格の対象外となります。

- i 一つの大企業(中小企業者以外の者)が発行済み株式総数又は出資総額の2分の1以上を単独に所有又は出資している場合
- ii 複数の大企業が発行済み株式総数又は出資総額の3分の2以上を所有又は出資している場合
- iii 役員の半数以上を大企業の役員又は職員が兼務している場合

- ②未上場であること

- ③日本国内に法人格を有すること

応募方法

特許庁が運営するウェブサイトIP BASEに掲載される応募フォームをダウンロードし、必要事項をご記入の上、応募期間内にipas2022@nttdata-strategy.com まで、件名を「スポットメンタリング応募+応募者名(略称可)」としメールにて提出してください。

開催回数及び募集数

年度内に4回開催、各回6社の予定

留意事項

- ①本プログラムの支援にあたり、スタートアップの機密情報の取扱いについて、法的に守秘義務を有しない者は支援先スタートアップとの間で秘密保持契約を締結します。そのため、メンタリングにおいては、メンタリングチーム、特許庁、事務局のメンバーが同席しますが、守秘義務は有しており、機密情報は適切な手段・方法で保護されます。
- ②料金は発生しません。
- ③審査経過・審査結果等に関する問い合わせには応じられません。
- ④本プログラムに関して、特許庁及び事務局等が、支援を受けるスタートアップの事業計画等について、一切の保証を行うものではありません。